

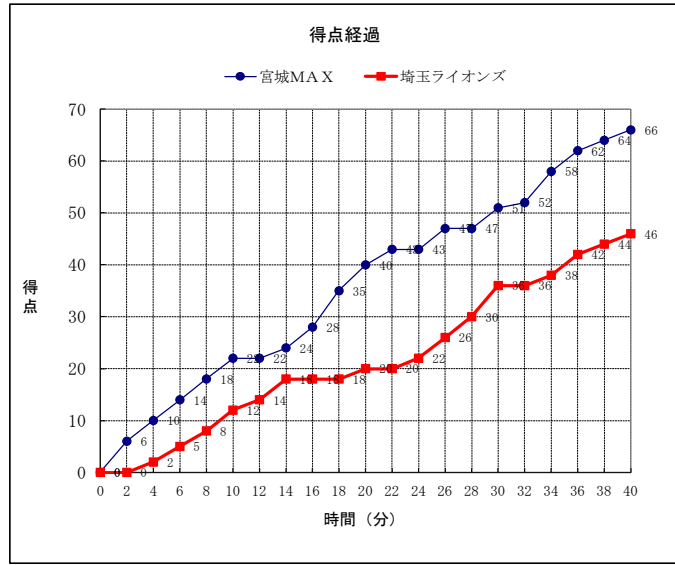
**内閣総理大臣杯争奪  
第42回日本車椅子バスケットボール選手権大会  
個人トータル表**

1988年5月18日 10時00分開始	
<b>準決勝</b>	東京体育館 A - 6

◎ <b>宮城MAX</b> (東 北)	66	( 22 1クォーター 12 18 2クォーター 8 11 3クォーター 16 15 4クォーター 10 )	46	<b>埼玉ライオンズ</b> (関 東)
----------------------------	----	---	----	-------------------------

番号	氏 名 (持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏 名 (持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
* 4	豊島 英 (2)	4	0	2	0	-	-	1	4	斎藤 智之 (1)	-	-	-	-	-	-	-
* 5	藤本 怜央 (4.5)	33	0	15	3	-	-	2	5	大本 将貴 (4)	-	-	-	-	-	-	-
6	東海林 和幸 (1)	0	0	0	0	-	-	0	7	原田 翔平 (1)	-	-	-	-	-	-	-
7	五十嵐 雄也 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-	8	蔵持 弘 (1)	-	-	-	-	-	-	-
8	佐藤 聡 (1)	7	0	3	1	-	-	0	9	赤石 竜我 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-
* 10	中澤 正人 (4)	10	0	5	0	-	-	0	10	森田 俊光 (2)	0	0	0	0	-	-	0
11	加藤 芳博 (3)	-	-	-	-	-	-	-	* 11	藤澤 潔 (2)	12	0	6	0	-	-	3
12	高橋 剛志 (4)	-	-	-	-	-	-	-	* 13	篠田 匡世 (3.5)	10	0	5	0	-	-	4
13	高橋 浩則 (2.5)	0	0	0	0	-	-	0	14	駒崎 和孝 (1)	-	-	-	-	-	-	-
* 14	向後 寄夫 (1.5)	6	0	3	0	-	-	1	15	青木 大 (1)	0	0	0	0	-	-	0
* 15	藤井 新悟 (1.5)	6	0	3	0	-	-	0	* 17	大館 秀雄 (4)	8	0	4	0	-	-	3
16	菅原 志朗 (1)	-	-	-	-	-	-	-	* 18	永田 裕幸 (2)	15	0	7	1	-	-	3
									19	三元 大輔 (3.5)	-	-	-	-	-	-	-
									* 20	宮澤 厚史 (2)	1	0	0	1	-	-	1
									21	佐藤 渉 (4.5)	0	0	0	0	-	-	0
HC	岩佐 義明								HC	水本 栄喜							
AC	石川 大介								AC	信太 奈美							
マネージャー	岩佐 望美								マネージャー	永盛 雅子							
マネージャー	会田 優								マネージャー	三木 ゆかり							
マネージャー	生畑目 有希								マネージャー	川浪 健志							
トレーナー	三浦 秀幸								トレーナー	宮澤 穂							
合 計		66	0	31	4	0	0	4	合 計		46	0	22	2	0	0	14

主審： 加藤 昌樹  
副審： 福井 公平  
副審： 蝦名 准



〔 戦 評 〕

1 Q : 宮城 15 のゴール下で始まった。宮城 14 が追加得点。宮城 5 のペネトレイトを埼玉は止められない。埼玉はターンオーバーを連発し、流れは宮城ペース。3分経過し、埼玉 18 番が初得点。宮城 5 番はミドルも決めてくる。宮城のゴール下はプレッシャーがきつく、埼玉は中、外、ともになかなか決まらない。埼玉は 18 番のファールにより宮城 5 番のフリースロー時に埼玉が一回目の T.O。宮城 5 番はフリースローを二本外し、逆に、埼玉に決められたが、すぐさま宮城 10 番のミドルで突き放す。埼玉 18 番に宮城 11 番がファールシカウト 1 スロー。これをしっかり決めた。宮城 5 番がきついマークを外すため、ティルティングしながらゴール下を沈めた。埼玉 18 番が速攻を冷静にレイアップで決めた。

2 Q : 宮城 5 番は再度ティルティングしながらミドルを決めた。埼玉は 13 番がペネトレイトしゴール下を決めた。その後お互いにゴールを決めきれない。埼玉 11 番の長めのシュートと埼玉 18 番のゴール下の連続で勢いづいたところですかさず宮城の T.O。宮城 5 番のシュートで流れを断ち切りたいが、決まらない。埼玉はゴール下まで行けないので、ミドルを放つが外れてしまう。その間に、宮城は宮城 5 番の連続シュートで点差を広げる。たまたま埼玉は T.O。宮城 5 番のフリースロー、1 本のみ決めた。

3 Q : 宮城 8 番のフリースロー、1 本のみ決めた。埼玉はシュートを「打たされている」印象。互いにシュートミス・パスミスで流れをつかめない。宮城 8 番の速攻、やはりこの辺りは宮城は確実だ。宮城のディフェンスは飛び出しが速く、守備範囲が非常に広い。そのため、埼玉のオフェンスファールを誘発する。埼玉 17 番がボードを使いしっかり決めた。続いて埼玉 17 もボードで決める。何とか流れを引き寄せたい埼玉のラストプレー。速いほりだして外へ押し出されつつも、埼玉 17 番のダメもとでの両手シュートがリングをつらぬいた。

4 Q : 埼玉 20 番速攻を外してボールを取られるもそれをもぎ取りさらに攻める。ここで埼玉が T.O。埼玉 11 番のミドルとゴール下連続得点。なかなか決められない埼玉の中で、一人気を吐く。宮城は 5 番と 10 番の 2 枚がゴール下を支配しているため安心して外から打っている。さらに埼玉 18 番がフリースローサークル付近から確実に決める。すかさず宮城 5 番がロングシュートで返す。埼玉 20 番がフリースロー二本ともはずし、試合終了。

2 Q の埼玉のハイポインター 2 人のファールトラブルで下がっている間に開いた点差が最後まで埋まらなかった格好だ。